NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞から職業の世界を見つめてみよう ～進路選択に生かすNIE～

2．学校名

鹿児島県鹿児島市立城西中学校

3．実践者名（代表者名）

福丸　恭伸

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

特別活動(進路学習)、総合的な学習の時間　38人

6．単元（本時の学習課題）名

「働く」とは、どういうことか、考えてみよう～地元の職業人の話を聞こう～

7．目標（狙い）

新聞の人物紹介記事をもとに、鹿児島で働く職業人の話を聞き、職業人としての心構えについて考えさせるとともに、働くことの意義や働くとは実際はどういうことなのかを興味・関心をもって考える態度を養う。

8．評価の視点

新聞の人物紹介記事、職業人の話を聞くことを通して、職業人としての心構えについて考えるとともに、働くことの意義について気づき、働くとはどういうことなのか興味・関心をもって考えることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

進路学習単元「『職業』について調べてみよう」(全7時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)1学期に行った職業に関するアンケート結果を知ることによって、学級の一人ひとりが職業について思いを描いていることを読み取るとともに、それぞれが現在抱いている「働く」ことの意味を理解する。(5分)
(2)自分自身にとって、「働く」ことは何だと思うか発表する。(7分)
(留意点:職業に関するアンケート結果から、現在抱いている働くことの意味を「生活のため」、「お金のため」という意味でしかとらえていないことに気づかせる。)
(3)鹿児島で働く職業人(ニュースキャスター)に関し、新聞で調べたことを発表する。(8分)
(留意点:「南日本新聞WORKわくわく」で調べた内容を要約させ、感想をまじえて発表させる。)
(4)鹿児島で働く職業人(ニュースキャスター)の講話を聞き、働くことの意味を考える。(20分)
(留意点:「南日本新聞WORKわくわく」で掲載された鹿児島の職業人(ニュースキャスター)の話から働くことの意義は、生きがいをもつこと、社会貢献をしていくことであることに気づかせる。)
(5)講話に対して感じたことを発表した後、教師の話を聞く。(10分)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・新聞を見ていると、その人が出てきたので、とてもびっくりしました。
・私は、自分で、新聞のレポートをまとめてあらためてキャスターの話を聞いてとても深かったので、とても感動しました。自殺やその事件について、悲しみをおしてニュースを語っている事がすごかったです。

12．成果と課題

職業紹介に関する新聞記事は、働くことの意味を考えていく上で、大きな効果が現れるとともに、進路指導キャリア教育に生かせる教材であることが分かった。また新聞に紹介された人物を実際に教室にゲストテイーチャーとして招くことにより、生徒一人ひとりに生きた学習教材としての実感を残すことが分かった。これまで職業調べだけで終わってきた従来の進路指導が、新聞活用を通し活性化され積極的な進路指導として取り組めるようになったことが大きな成果であった。教科指導に偏りがちなNIEであるが、特別活動をはじめとする進路学習でも新聞を効果的に活用することができることが示されたといえよう。